



均 霈



子育て支援センター「歩っ歩」で触れ合う親子

主な内容

一般質問	2～11P
池原政文／外間慎仁／安富信武／大城昌光／安富朝広 吉野 潤／仲間政治／仲間昌信／大城一之／崎浜秀幸	
平成28年第5回（9月）定例会	12～13P
議員研修会・傍聴案内	15P
平成28年第6回（10月）臨時会	16P

金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp>

一般質問

平成28年第5回(9月)定例会

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



池原 政文 議員

下水道施設への宅内配管の接続状況

下水道施設への接続件数は

町長 並里・金武地区で1147件の計画に対し、15件である

池原議員 平成28年4月から並里・金武地区において

下水道事業が一部供用開始されたが、接続率と件数について伺う。

仲間一町長 平成28年8月

末現在で、接続率1・3%、

計画件数1147件に対し15件で、うち金武地区が10件、並里地区が5件である。

池原議員 今後の宅内配管の接続率の向上策について伺う。

町長 接続率の向上策については、引き続き広報等で接続推進を図るとともに、各地区公民館において下水道事業についての啓発活動を行う。

池原議員 個別相談窓口の具体的な内容は。

仲間光明 上下水道課長

宅内配管については広報等でチラシの配布などを行っているが、なかなか接続率の向上につながらないことから、月に一、二回程度、町の職員が公民館に出向き、

事業内容の説明を行うなど、住民が個別に相談できるような取組みを行う。

池原議員 浄化槽から汲み

取った汚泥の処理費について、平成30年度までに廃止することを計画しているが。

仲田博 住民生活課長

予算計上しているし尿処理費約4000万円は、平成30年度の廃止を検討している。

29年度に下水道の接続及びし尿処理について、各地区で説明会を開催し、町民に理解を求めていく。

町道の二部拡幅工事

伊芸8号線の拡幅計画は

町長 29年度に用地買収と工事を予定

池原議員 町道伊芸8号線

は、国道から公共施設などを結ぶ主要な道路である。

伊芸地区集会所付近の十字路は見通しが悪く、通行

車両による人身事故の危険性が指摘され住民から改善が求められているが、拡幅の計画は。

町長 伊芸地区集会所付

近の交差点の見通しが悪い状況であるため、拡幅工事を実施し、通行車両の安全性の確保を図ることとしている。

工事予定箇所の地権者からは既に同意を得ており、平成28年度に地籍測量業務を実施し、29年度に用地買収及び工事に着手する予定である。



伊芸地区集会所付近の交差点

農業用水の安定供給策

親田原・ウフブチャ原の農業用水の整備は

町長 加圧ポンプと配管の整備に向け、協議を進める

池原議員 伊芸区オヤタバ

ル(親田原)・ウフブチャ原の農業用水の安定供給を図るため、区や受益者と協議を行いながら整備に向けて取組むとのことであるが、進捗よく状況を伺う。

町長 平成26年度に調査を行った結果、加圧ポンプと配管の整備を行うことで安定的な供給が図られるものとなっている。

今後は29年度に実施設計、30年度に施設整備に向けて、区や受益者と維持管理等について協議を進めることとしている。



外間 慎仁 議員

一括交付金を活用した
企画提案型のまちづくり

一括交付金の活用状況は

町 長
平成24年度から27年
度までに延べ49事業
を実施している

外間議員 本町の沖繩振興
一括交付金の活用状況は。

仲間一町長 本町における

一括交付金事業の実績は、平成24年度に13事業を実施し、交付金が2億9061万円。配分額に対する執行率（以下同じ）90・8%。25年度は12事業で、交付金が3億37万8000円。執行率93・8%。

26年は10事業で、交付金

額3億2115万4000円。執行率98・2%。

27年度は14事業で、交付額2億6457万4000円。執行率78%である。

また、特別枠の事業として、平成25年度に2事業、交付金額3億1221万円、26年度に1事業、交付金額3905万4000円を実施している。

外間議員 一括交付金を活用した事業の中には、小中学校の学習支援事業や幼稚園の預かり保育事業などもあるが、産業に結びつく事業が少ない。

ギンバルのスポーツツーリズムや医療ツーリズム、ダムを活用するなど、町づくりに向けた企画提案が期待されるが。

安富相昇企画課長 スポーツ施設やダム周辺施設も活用した企画なども検討したい。

地方創生交付金を活用した
企画提案型のまちづくり

地方創生加速化交付金・
地方創生推進交付金を
活用した取組みは

町 長
他市町村などの事例
を参考にしながら取
組む

外間議員 一億総活躍社会

の実現に向けた緊急対応として、地方版総合戦略に基づき、希望を生み出す強い経済や子育て支援、安心につながる社会保障も含めた地方創生加速化交付金、地方創生推進交付金を計上しているが、本町の取組み状況を伺う。

町 長 地方創生加速化交

付金及び地方創生推進交付金を活用した取組みについては、しごと創生、地方への人の流れ、働き方改革、まちづくりの4つの分野に交付されているものである。

本町において同交付金を

活用した事業は実施していないが、今後、他市町村の事例などを参考にしながら活用に向けた取組みを行う。

土地利用についての
用途制限

土地利用についての許可
基準は

町 長
都市計画区域ではな
いため、基準等の制
限ができない状況で
ある

外間議員 浜田地区の住宅

街において、資材ヤードがつくられ、粉じん被害や工事車両の往来による騒音、子ども達の交通安全面に対する苦情や被害報告がある。そのことも踏まえ、町の土地利用の用途制限について、どのような許可や基準になっているか伺う。

町 長 本町は都市計画法

に基づく都市計画区域ではないため、用途の指定がなく、許可、基準等の制限が



周辺の住宅へ飛散した粉じん

できない状況であり、当該地域においても用途の指定をしていない。当該箇所については、県土保全条例に基づく開発許可面積要件を満たしていないため適用外となっているが、町では平成28年5月から粉じん問題を解消するため、産業廃棄物の撤去、赤土防止の沈砂地の設置、粉じん飛砂防止の散水等の対策について、法律に基づき指導を行っている。



安 富 信 武 議 員

株式会社きこのセンター
金武

今後の売り上げ拡大策は

町 長 冷蔵車両などを活用し、更なる流通・販路の拡大を図る

安富議員 平成25年度、26

年度の決算では損失が計上されていたが、27年度は黒字に転じている。

好転した要素と今後のきのこ市場の見通し、売り上げ拡大の具体策を伺う。

仲間一町長 27年度のきのこ

センター金武の決算については、売上高1億7617万8662円で、当期純利益が564万7048円である。

黒字化の主な要因は、25年度までの販売会社を通じた販売方法から自社販売方式に改め、流通・販売にか

かっていた経費の削減と態勢の強化が図られたことによるものである。

なお、26年度に一体的な流通・販売を行うための冷蔵車両を2台購入していることが功を奏している。

今後のきのこ市場については、県外大手メーカーによる安価なきのこが出回る傾向があり、特に夏場の価格下落が大きく厳しい状況が続いている。

今後は、導入した冷蔵車両や27年度に整備した冷蔵倉庫を活用し、更なる流通・販路の拡大を図り、経営の改善が図られるよう連携していく。

金武町特産品加工センター

今後の経営計画は

町 長 田芋加工品売り上げの拡充と田芋以外の加工品の販路拡大を図る

安富議員 平成25年度、26

年度決算では黒字経営を続けてきたが、27年度は損失を計上している。

その要因と今後の経営計画を伺う。

町 長 平成27年度の金武

町特産品加工センターの決算については、売上高5335万4422円で、当期純損失が104万9406円である。

損失については、加工品の原料である田芋の製品率の悪化による製造原価の増とシークワサー及びマンガの豊作に伴う加工品市場の供給過多による果樹加工品販売額の減が主な要因である。

今後の経営計画については、田芋加工品売り上げの

拡充と田芋以外の加工品の販路拡大を図り、運営の改善が図られるよう、連携していく。

ウチナーンチュ大会及びシマヌチュ大会

シマヌチュ大会の企画内容は

町 長 復元された當山記念館のオープニングセレモニーなどを行う

安富議員 第6回世界のシ

マヌチュ大会の実行委員会の企画内容と當山記念館を活用したイベントについて伺う。

町 長 第6回世界のシ

マヌチュ大会を平成28年10月22日から25日まで開催する予定である。

内容は、海外移住の礎を築いた當山久三の偉業を顕彰する當山久三顕彰式や復元された當山記念館に移民関係の資料を展示し、内覧



復元された當山記念館

を兼ねたオープニングセレモニーなどを実施する。また、10月22日及び23日に開催される金武町まつりにおいて、本町出身の海外移住者及びその子弟等を歓迎する世界のシマヌチュ歓迎式などを実施する予定である。



大城 政光 議員

給食費の無料化

平成29年度から完全無料にすべきと思うが

町長 平成29年4月から、完全無料化を実施する

大城議員

平成28年3月の定例会において町長は、「給食費の無料化については、私債権管理条例に基づき環境を整えながら、平成29年4月から給食費の無料化の実施に向けて取組む」と私の一般質問に対して答弁を行っている。

平成29年4月から給食費を完全無料化にすべきであると考えるが、所見を伺う。

仲間一町長

本町ではこれまで要保護、準要保護世帯に対し、就学援助費として給食費を支給し、平成22年度から多子世帯に対する子育て支援として、第3子以降の給食費無料化を実施してきた。

金武町はこれまでも子育てのしやすい町づくりを目指し、さまざまな施策を展開してきたところであるが、昨今の子どもの貧困問題を鑑み、平成29年4月1日からは新たに第1子、第2子も対象とし、幼児、児童、生徒の給食費完全無料化を実施する。

農業振興

農業施設を整備し、規模拡大を図り、安定的な生産基盤を構築すべきでは

町長 農家の要望を踏まえるとともに、経済的負担の軽減に取組む

大城議員

屋嘉区には、耕作放棄地に近い状態にある町有農地が散在している。この農地に鉄骨構造の農業施設を整備し、近代的で台風にも耐える施設で安定した収入のもと、金武町に住んでよかつたと思える地域にすべきであると考えているが、所見を伺う。

町長

本町ではこれまで、安定的な農産物の生産基盤確立のため、北部振興事業や強い農業づくり交付金の各種補助事業を活用し、台風等の自然災害に耐えうる安全構造基準に準じた施設導入を促進している。

地域環境整備

屋嘉区の海岸背後地の環境整備は

町長 環境整備に向け、沖縄県と協議を行う

大城議員

屋嘉区の海岸背後地がジャングル状態になっており、災害、衛生面からこのような劣悪な生活環境状態を放置してはならないと思うが、対応策を伺う。

町長

当該地域は沖縄県の管理となっており、これまで植栽の剪定や除草などを要請してきたが、対応が遅く、町で対応してきた経緯がある。

背後地の整備について県と協議を重ねた結果、占用許可を受け、遊歩道や駐車場の整備は可能ではないかとの回答を得ており、整備に向けて調整を行う。



安富朝広 議員

役場庁舎裏跡地利用計画

跡地利用計画の進ちよくは

町長 分散している課の集約を図り、庁舎増築を進める

安富議員 役場庁舎裏側は、

前町長が機構改革に伴い庁舎増築を計画していた。

建物が解体され更地となつていますが、跡地利用計画の進ちよくと債務負担行為となつてしている予算の対応を伺う。

仲間一町長 跡地利用計画

については、保留中であるが、平成29年度には子ども支援課（仮称）の設置と保

健福祉課等の分散している課を庁舎内に集約できるような作業を進めており、その進ちよくに合わせて庁舎増築を進める計画である。

債務負担行為については、4億950万円が計上されており、庁舎増築の計画変更等で見直しが生じているため、再度増築費用の設計額に合せた変更を行う。

安富議員 行政改革の進ちよく状況は。

上原浩総務課長 行政改革

については、これまで水道課と下水道係を統合し、下水道課とした。今後は幼保関係と教育部門を中心に検討を行うこととしている。

保健福祉課についても、役場の離れや保健福祉センターに分散しており、役場庁舎内に一つにまとめ、高齢者や障がい者が不便を来さないよう、住民サービスを展開したい。

雨水側溝改修

側溝改修の進ちよくは

町長 雨水処理が十分でない箇所について、工事を発注している

安富議員 町内には未だL

型側溝が数箇所あり、同地域は大雨時に道路や住宅地の浸水被害が多く見受けられるが、改修工事の進ちよく状況を伺う。

町長 側溝の改修につ

いては、各区からの要望や現場状況調査により改修を行っている。

平成28年度においても金武公会堂周辺や金武中学校周辺で雨水処理が十分でないと確認した箇所について、8月に工事を発注している。今後もし型側溝を含め、雨水処理が不十分な箇所の改修を行う。

安富議員 年次計画をもつて、継続して取組む考えは。

宝正徳建設課長 L型側溝

で十分対応可能な箇所についてはそのまま使用するが、調査を行い、U型への変更が必要な箇所については、必要に応じ改修を行う。

安富議員 道路の傾斜なども考慮し工事を検討すべきと考えるが。

建設課長 道路の勾配等も確認しながら、排水処理が十分行えるよう対応したい。



改修が待たれるL型側溝

指名競争入札

今後特殊工事は町外業者へ発注する方針か

町長 共同企業体として町内業者が参加できるように改訂を行った

安富議員 指名競争入札は

歴代町長の方針により、地元業者育成を目的として、町内業者へ発注されてきた。

近年、特殊工事という理由から町外業者が受注していることが見受けられるが、特殊工事とは何を基準としているか。また、今後も特殊工事については、町外業者へ発注する方針か。

町長 これまで町内で実

績のない工事を特殊工事と捉えている。

特殊工事に関しても共同企業体として町内業者が参加できるように、取り扱い要領を改訂している。

河川環境整備と管理状況



吉野 潤 議員

樹木が繁茂し、危険な状況であるが

町長 早急に伐採を進める

吉野議員 屋嘉地区の前田川、渡久比那川沿いの樹木が繁茂し、川を越えて農道まで樹木がはみ出して危険な状況となっているが、今後の対応策を伺う。

仲間一町長 前田川、渡久比那川沿いの樹木については、河川沿いに樹木が覆い被さっている状況であり、早急に伐採を進める。今後、土地改良施設に係

る河川沿いの樹木等については、維持管理体制を構築し、適正管理に努める。

吉野議員 区は住民からの要望を受け、町へ相談したが、なかなか進まないというのであった。迅速に対応できる方法はないか。

安富祖勸産業振興課長 産業振興課で予算計上している機械使用料や農地や農道の法面、貯水池の維持管理のための補助事業も活用しながら、維持管理を行う考えである。

吉野議員 前田川上流の農道沿いの状況を確認したことはあるか。

産業振興課長 現場は枝と雑木によって排水路のほうにも雑木が伸びている状況を確認している。

吉野議員 早急な対応が求められるが。

産業振興課長 前田川、渡久比那川沿いの樹木の伐採、排水路、川底の雑草の除去

など、数週間以内に全ての作業を終える計画で進めている。



前田川河川沿いの様子

悪臭問題

今後の話し合いは

町長 地域住民立会いのもと、改善対策等の説明を行った

吉野議員 屋嘉地区の養豚団地の悪臭問題について、今後の具体的な対応策など、屋嘉区との話し合いは行われているか。

町長 屋嘉地区養豚団地の悪臭問題については、北部家畜保健衛生所、中部保健所と現場確認を行うとともに、施設の適正な管理、死骸の適正処理、臭いを外部に出さないような取組み等について、生産農家等へ指導を行っている。

地域住民との話し合いの結果、説明については屋嘉区長を通して文書で行うこととしており、随時その報告を行っている。

地域住民約15名の立会い

のもと、養豚団地内において町、北部家畜保健衛生所、中部保健所から豚舎の状況や改善対策等の説明を行っている。

吉野議員 悪臭問題に対する今後の取組みは。

町長 引き続き北部家畜衛生所、中部保健所と定期的な見回りや管理状況を確認するとともに、臭気測定を行い、測定結果に基づく指導を実施していく。また、ふん尿の溜め層の被覆等、畜産農家、預託業者への指導を行いながら改善に向けて取組む。

温泉施設整備計画



仲間 政治 議員

未だに施策が展開されない理由は

町長 民設民営による事業実施方針を固めた

仲間議員 ギンバルにおける温泉施設の整備計画及びその活用に関して、未だに施策が展開されていない理由を伺う。

仲間一町長 町はこれまで公設公営、公設民営による維持管理に係るコスト計算や設備更新時の建て替え費用負担等の事例から、安定・継続的な施設整備及び運営のため、民間活力を導

入した民設民営の事業実施方針を固めた。

現在、温泉事業者選定に必要な町の条件提示等も含めた実施要綱作成や、提案事業者から提出された事業計画内容確認、経営状況や収支計画の審査を行うため、補正予算として温泉施設整備推進業務委託料を計上しており、年度内で事業者を決定できるよう取組む。

仲間議員 温泉掘削が完了してから1年以上放置されていた理由は。

池原均副町長 スピード感がなかったことについては反省しなければならぬ。現在、温泉事業者の公募に向けて町の条件整備等を行っている状況であり、今後、議会に対して説明を行いたいと考えている。

医療施設の管理に関する損害賠償請求

被告の主張内容は

町長 請求の棄却等を求めている

仲間議員 町が原告として訴訟に至っているが、裁判

における被告の主張と裁判の動向について伺う。

町長 金武町地域医療施設の維持管理費に係る損害賠償請求訴訟については、

5月17日の第一回口頭弁論において被告から答弁書が提出され、原告請求の棄却及び訴訟費用の原告負担を求める答弁があった。

7月8日の第二回口頭弁論では、原告の訴状内容に対し、事実の認否と被告の主張があった。

8月30日の第一回弁論準備手続では、被告の主張に対し、証拠書類を準備し、反論を行っている。

裁判の動向については、

現在、原告と被告双方の主張が出されているところであり、今後は弁論準備手続等で、裁判官の主宰によって争点の整理がなされ、審理されていくこととなっている。

當山記念館

今後の動向は

町長 町内の児童・生徒や海外移住者子弟等の学習の場として活用

仲間議員 當山記念館の活用について、検討委員会から答申が提出されているが、

今後の動向について伺う。実施計画等は策定されているか、所見を伺う。

町長 當山記念館については、窓枠や塗装等、建築当時に近い状態で復元できよう、改修工事を実施している。



建築当時に近い状態へ復元された當山記念館内部

9月下旬の完成を予定しており、世界のシマヌチユ大会の初日にオープニングセレモニーや内覧会を実施する予定である。記念館の活用については、沖縄海外移民に関する常設展示を行い、町内の児童・生徒を対象とした郷土学習や海外移住者子弟等の研修や学習の場として活用したいと考えている。



仲間昌信 議員

生活環境問題

悪臭防止に関する条例の制定は

町長 県内外の先進事例を参考に検討を行う

中間議員 屋嘉区14班の悪臭問題について、住民側から解決策の要請があったと思うが、どのように対処したか伺う。

仲間一町長 屋嘉地区の養豚団地の悪臭問題については、昨年9月9日に屋嘉区長、屋嘉区14班の住民が来庁し、「屋嘉区内における環境衛生問題への対応について」の要請書が提出され

ている。

要請を受け町では、北部家畜保健衛生所、中部保健所と現場の確認を行い、生産農家や預託業者へ直接指導を行っている。その後、生産農家においては、指導に基づき、施設の修繕等の対応を進めている。

中間議員 悪臭問題に至った経緯と現在の状況を伺う。

町長 昭和54年度から昭和56年度にかけて、農事組合屋嘉畜産組合の養豚団地整備後、平成10年度から養豚団地近隣で民間の宅地分譲が開始された後から、悪臭問題が発生している。悪臭の要因は、豚舎管理の不十分な部分が主なものとなっている。

町としては、今後も引き続き、悪臭対策に向けた取り組み等について、北部家畜保健衛生所、中部保健所と連携を図り、畜産農家等へ指導を行うとともに、臭気

測定を行い、結果に基づく指導を行う。

中間議員 これを契機に、悪臭防止に関する条例の制定を検討すべきと考えるが。

町長 条例の制定については、県内外の畜産農家の悪臭防止対策や、悪臭防止に関する条例等の先進事例等を参考にしながら検討を行うこととする。

中間議員 豚舎付近のチリ捨て場跡について、チリは完全焼却されたか。また、地下水の調査は行っているか。

町長 豚舎付近のチリ捨て場は、昭和59年、町有地であるソマヤマバル(杣山原)の屋嘉2018番地の一部を、合資会社 屋嘉産業に貸し付け、一般廃棄物処理場として沖縄県知事へ届出書が提出され、事業が開始されている。平成15年度には事業が完了し、19年まで環境省の示

す地下のガスや水質等の環境基準調査が行われている。県が廃止の確認を行い、調査結果について基準以下と認められたことで、平成

20年1月に一般廃棄物最終処分場の廃止が確認され、20年2月に金武町長へ町有財産が引き渡されている。

子の貧困実態調査

貧困原因の把握は

町長 情報の整理、分析等を行い、把握に努めたい

中間議員 子どもの貧困問題解決に向け、議会においても議論がなされているが、本町の問題点や原因の把握ができていくか伺う。

町長 子どもの貧困問題については、保護者の所得状況などが大きく影響しているものと考ええる。対象世帯に対しては、本年度から配置したスクールソーシャ

ルワーカーによる訪問聞き取り調査等を実施し、情報の整理、分析等を行い、貧困の背景を把握していきたいと考える。

また、訪問聞き取りの中で、必要に応じて生活困窮者支援センターや社会福祉協議会の生活資金貸付制度の紹介や生活保護も含めた公的扶助などの案内にもつなげたい。

中間議員 実態の把握と必要な支援策の策定に向け、児童・生徒や保護者を対象にアンケートを実施すべきと考えるが。

町長 アンケートの実施については、対象内容や方法などについて、既に実施している沖縄県や他の市町村の調査票等を参考に実施したい。

世界のシマヌチュ大会



大城一之 議員

シマヌチュ大会の内容は

長 復元された當山記念館のオープニングセレモニーや町内外の視察を予定

大城議員 世界のシマヌチュ大会の日程と内容について伺う。

仲間一町長 第6回世界のシマヌチュ大会は、10月22日から23日に開催される金武町まつりと同時開催を予定している。

内容は、海外移住の礎を築いた當山久三の偉業を顕彰する顕彰式をはじめ、復

元された當山記念館に移民関係の資料を展示し、内覧会を兼ねたオープニングセレモニーを実施する。

まつり会場では、海外移住者及びその子弟等を歓迎する世界のシマヌチュ歓迎式や南米料理の試食ができる南米料理フェア、小中高生による當山久三口マンの公演を実施。

24日から25日にはシマヌチュ大会の一環として、町内外の文化財や世界遺産などを巡り、歴史文化を学ぶ視察を予定している。

大城議員 金武町まつり、民俗芸能祭との同時開催について伺う。

町長 本年度は多くのシマヌチュが来町することから、金武町まつりと民俗芸能祭を同時開催する予定である。

多くのシマヌチュがまつりに参加し、金武町のかおり高い郷土文化に触れ、町

民と交流を図ることで、移民発祥の地である金武町において、自らのルーツを感じる事ができるものと考

える。



金武町まつりと同時開催された民俗芸能祭

中央公民館の利用

サークルの活動状況は

教育長 24団体、330人が活動を行っている

大城議員 中央公民館のサークル活動状況を伺う。

比嘉貴一教育長 中央公民館におけるサークルの活動

状況は、分野別に民謡・琉舞8団体で138人、音楽5団体で54人、体操・ダン

ス7団体で93人、絵画1団体で9人、趣味3団体で36人、合計24団体で330人が活動を行っている。

大城議員 2人で広いホールを使っているサークルについての対応は。

新里朝治社会教育課長 教育委員会広報誌にくむなどへ会員募集を掲載するなど、会員増に向けた取組みについて、代表者の方と話し合いを行っている。

喜瀬武原地域の河川

河川冠水被害対策は

町長 基地内の狭隘部の工事着手に向け、県や防衛局へ要請を行う

大城議員 喜瀬武原（金武町地域）の河川の冠水被害対策と河川沿いの農道の管理について伺う。

町長 億首川の冠水被害については、これまでたび

とから、平成18年度から沖縄県が改修工事を実施しており、現在は冠水による被害は確認されていない。

工事未着手である基地内の狭隘部については、早急に着手できるように、引き続き沖縄県及び沖縄防衛局に要請を行う。

河川沿いの道路については、沖縄県の河川管理用道路として位置づけられており、億首川改修事業は平成32年度完了予定との報告を受けている。

大城議員 橋梁の保守点検について伺う。

町長 喜瀬武原地区において町が管理する橋梁に構

1号橋があり、平成27年度に実施した橋梁長寿命化修繕計画策定業務の中で点検を行い、構造上の問題がないという結果が出ているが、一部に損傷が見られるため、補修等を行う。



議員 崎浜 秀幸

子の貧困、金武町の
実態調査

実態を把握し、早期の
支援が必要ではないか

町長 アンケートなども参
考に、今後の施策に
反映させる

崎浜議員 今年度から沖縄

県は独自に子ども貧困対策
推進基金を設置した。その
制度を活用し、金武町にお
ける子の貧困問題を改善す
るために実態を把握し、ど
のような施策を講ずればよ
いか、町長の政策につなげ
て早期の支援が必要と考え
るが、町長の所見を伺う。

中間一町長 町ではこれま

で、金武町子どもの貧困対
策協議会や関係課などで検
討した結果、貧困層といわ
れる要保護世帯、非課税世
帯を対象に就学支援や子ど
もの生活支援を中心に支援
を進めていくこととしてい
る。

貧困問題の実態把握につ
いては、現在スクールソー
シャルワーカーを配置し、
対象世帯の聞き取り調査を
行っており、収集した情報
の整理・分析を行いながら
実施予定のアンケートなど
も参考に、今後の施策に反
映させたい。

崎浜議員 沖縄県において

は、家庭の金銭的な問題で
進学を断念せざるを得ない
状況が全国に比べて高い。
この状況を町長はどのよう
に受け止めているか。

町長 向学心がありなが

ら進学できない状況も多々
あるのではないかと感じて
いる。ふるさと創生基金を

活用するなど、人材育成や
国際交流へ活用できるよう
な知恵を振り絞るよう教育
委員会で検討していただい
ているので、いろいろな
方々から意見を拝聴し、子
どもの手助けとなるような
施策を展開したい。

崎浜議員 2015年度に

県が小中学生とその保護者
から聞き取り調査を実施し
ているが、その調査結果は、

知念久学校教育課長 昨年、

県が沖縄子ども調査という
ことで、対象市町村と学年
を選定したうえで幾つかの
調査を実施しており、その
結果が県のホームページに
掲載されている。

この状況について、金武
町がそのまま該当するかと
いうことも含めながら、今
後の町独自の調査に繋げて
行きたい。

KIN放射線治療・健診
クリニックの利用状況

施設の利用状況は

町長 1月から8月までに
990名が利用

崎浜議員 1月にオープン

した地域医療施設の利用は
どのような状況か。

町長 平成28年1月の開

業からの利用者数は、1月
が47名、2月が79名、3月
が123名、4月が92名、
5月が100名、6月が1
47名、7月が184名、
8月が218名で、合計9
90名となっている。

診療科目は、内科、眼科
で1月に開業し、2月に脳
神経外科を追加、6月には
検診が開始されている。

7月からは、がんの放射
線治療を行う放射線科が新
たに追加されている。

崎浜議員 施設提供者であ
る町として、どのような協

力ができるか。

町長 町の協力について
は、これまで医師会などと
連携を図るための取組みや
施設の新たな情報などに
ついて、町のホームページや
広報誌への掲載による周知
などの協力を行っている。

今後の協力については、
金武町の特定健診の受診率
が約40%となっていること
から、総合的な健診機能を
有した当施設と関係課の連
携を図り、受診率の向上に
取組んでいきたいと考える。



KIN放射線治療・健診クリニック

平成28年 第5回(9月)定例会

平成27年度各会計の決算を認定

平成28年第5回定例会を9月13日(火)から9月29日(木)までの17日間の会期で開催した。

定例会では、補正予算(一般会計、4つの特別会計及び水道事業会計)や税条例の一部改正、工事請負契約の締結に関する議案などを審議し、全ての議案を原案のとおり可決した。

また、平成27年度の各会計の決算については、議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会において審議を行った。各会計の決算状況と議決の結果は下記のとおり。

平成27年度各会計の決算

一般会計歳入歳出決算

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
112億5,670万9,701円	106億2,372万3,798円	6億3,298万5,903円

国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
24億2,806万3,004円	23億2,524万7,744円	1億281万5,260円

有線放送電話事業特別会計歳入歳出決算

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
2,784万7,705円	2,385万6,391円	399万1,314円

後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
1億4,140万2,885円	1億4,069万7,571円	70万5,314円

下水道事業特別会計歳入歳出決算

歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
1億655万6,820円	9,767万6,928円	887万9,892円

水道事業会計決算

水道事業収益:4億426万円	水道事業費用:4億182万4,000円
資本的収入:1億2,471万4,000円	資本的支出:2億6,146万4,000円

※資本的収入額が資本的支出に不足する額8,304万8,417円は、減債積立基金、建設改良積立金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金で補填した。

各会計の決算に関する議決結果

議案名	議決結果
平成27年度金武町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定 (賛成多数)
平成27年度金武町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)
平成27年金武町有線放送電話事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (賛成多数)
平成27年度金武町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)
平成27年度金武町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)
平成27年度金武町水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決 及び認定 (全会一致)

決算審査特別委員会において留保された少数意見について

提出者

仲間政治委員 仲間昌信委員

意見の要旨

- ・特別とん譲与税について、町の財源確保の意味から、金武レッド・ビーチの港湾指定に向けて全力を尽くすべきである。
- ・民泊事業は違法性があると指摘されているので、当局は違法性を払拭すべきである。

提出者

伊芸 孝委員 池原政文委員

意見の要旨

- ・町税等の滞納については、税の公平性を確保するために徴収に努力されたい。

少数意見の留保とは・・・

委員会における表決の結果、多数を得られず廃棄された意見で、本会議における審議の際、委員長が行う委員会の結果報告と合わせて、自ら少数意見としてこれを報告する権利を保持しておくこと。

委員会での結論は仮の結論であり、いわば本会議における判断材料となるにとどまり、本会議での審議は必ずしも委員会での結論に拘束されるものではない。したがって、委員会で廃棄された少数意見も、本会議では同調者を得られる可能性があり、本会議の判断材料という意味からは、少数意見の報告はそれなりに意義を有する。

その他の議案の議決結果

議案名と主な内容	議決結果
<p>平成28年度金武町一般会計補正予算(第2号)</p> <p>歳入歳出それぞれ2億2,927万3,000円を追加し、補正後の予算総額を88億7,664万5,000円とするもの。</p> <p>補正の主なものは、歳入では地方交付税の5,145万9,000円、土木費国庫補助金の4,248万4,000円の増、総務費県補助金の3,493万1,000円などの増。歳出では、事業開発費1,914万4,000円の増、観光費の2,920万円の増、道路新設改良費の7,915万6,000円の増。</p>	原案可決 (賛成多数)
<p>金武町財政調整基金の処分について</p> <p>道路新設改良費、公園費などへ1,888万9,000円以内を充当するもの。</p>	原案可決 (賛成多数)
<p>平成28年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)</p> <p>歳入歳出それぞれ36万7,000円を追加し、補正後の予算総額を24億5,327万7,000円とするもの。補正の主な理由は、人件費の増によるもの。</p>	原案可決 (全会一致)
<p>平成28年度金武町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)</p> <p>歳入歳出それぞれ52万1,000円を減額し、補正後の予算総額を1億4,180万7,000円とするもの。補正の主なものは、人件費の減によるもの。</p>	原案可決 (賛成多数)
<p>平成28年度金武町有線放送電話事業特別会計補正予算(第1号)</p> <p>歳入歳出それぞれ29万2,000円追加し、補正後の予算総額を2,930万5,000円とするもの。補正の主なものは、歳入では他会計繰入金29万2,000円の増。歳出では施設管理費の29万2,000円の増である。</p>	原案可決 (賛成多数)

議案名と主な内容	議決結果
平成28年度金武町水道事業会計補正予算(第2号) 収益的収入の第1款収益的収入に8万6,000円を加え、3億9,129万6,000円とするもの。補正の主なものは、簡易水道事業の事務負担金である。	原案可決 (全会一致)
平成28年度金武町下水道事業特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ3,173万6,000円を追加し、補正後の予算総額を5億9,049万2,000円とするもの。補正の主なものは、並里・金武地区農業集落排水事業建設工事に係る工事請負費の増である。	原案可決 (全会一致)
負担付寄附の受け入れについて(伊芸地区公民館増築工事) 伊芸地区公民館の増築工事に充てるため、伊芸区から105万円以内の寄附金を受入れること。	原案可決 (全会一致)
金武町税条例の一部を改正する条例について 個人住民税及び固定資産税の全期分を年度当初に一括納付した場合に受けることができる報奨金を廃止するため、条例の一部を改正するもの。 平成29年度課税分から報奨金制度が廃止される。	原案可決 (賛成多数)
工事請負契約締結について 件名:伊芸地区畑地かんがい施設整備工事(2工区) 契約の相手方:(有)ナカムラ造園土木 契約金額:5,184万円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件名:喜那又原排水路整備工事 契約の相手方:(株)ホカマ 契約金額:6,890万4,000円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件名:並里・金武(第二期)地区農業集落排水資源循環施設建設工事 契約の相手方:(有)神中組・(株)ホカマ建設工事共同企業体 契約金額:1億5,336万円	原案可決 (賛成多数)
工事請負契約締結について 件名:並里・金武(第二期)地区農業集落排水資源循環施設建設工事 (機械・電気) 契約の相手方:共和化工(株)・(有)宮里電水工業建設工事共同企業体 契約金額:1億3,240万8,000円	原案可決 (賛成多数)
工事請負契約締結について 件名:金武町立体育館機能高度化整備工事(建築) 契約の相手方:(有)仲正組 契約金額:7,312万6,800円	原案可決 (賛成多数)
工事請負契約締結について 件名:金武地区公園遊具設置工事 契約の相手方:(有)金武土建 契約金額:8,325万7,200円	原案可決 (賛成多数)
金武町固定資産評価審査委員会委員の選任について 固定資産評価審査委員会委員へ仲間通夫氏を選任するため同意を求めるもの。	同意 (全会一致)
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員の候補者として、仲田朝子さんを法務大臣へ推薦するため意見を求めるもの。	適任 (全会一致)
議員派遣に関する決議 沖縄県町村議会議員・事務局職員研修会及び町村議会広報研修会へ議員を派遣するための決議。	可決 (全会一致)

町村議会議員・事務局職員研修会

平成28年10月13日(火)、NBCサムシングフォー西崎において、沖縄県町村議会議員・事務局職員研修会が開催された。

研修会は二部構成で、第一部では、名護療育医療センター診療部長の勝連啓介氏と沖縄県発達障害者支援センター主任の与那城郁子氏が講師を務め、「子どもの発達課題と発達支援」、「県内における発達障害児者支援の現状とこれからの取組み」についてそれぞれ講演を行った。

第二部では、沖縄メディカル病院副院長の吉田貞夫氏が、「いい栄養で、いきいき元気！認知症予防！」と題し、食べることの大切さや認知障害による摂食障害の事例など、食をテーマとする講演が行われた。



勝連啓介氏



与那城郁子氏



吉田貞雄氏

傍聴案内

議会を傍聴してみませんか。

12月定例会は、改選後、初の議会となるため、正副議長の選挙や常任委員会、特別委員会の委員を決定する案件があります。

開会は、**12月12日(月)**を予定しており、日程が決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。

詳細については、議会事務局へお問い合わせください。

*傍聴席には磁気ループを設置しております

*議会ライブ中継も実施しておりますので、ホームページ内の【議会中継】から視聴して下さい。



金武町議会事務局

有線電話：8-2292 NTT：098-968-2292

平成28年 第6回 臨時会

平成28年第6回臨時会を10月31日に開催した。

臨時会では、一般会計補正予算と財政調整基金の処分に関する議案を審議した。

また、議員提案として、米軍北部訓練場ヘリパッド建設に抗議する市民への県外機動隊員による差別的発言に対する意見書が提出され、採決の結果、賛成7、反対7と可否同数となったため、議長裁決により可決となった。議決結果は下記のとおり。

議案名	議決結果
平成28年度金武町一般会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ6億4,918万2,000円を追加し、補正後の予算総額は、95億2,582万7,000円となる。 補正の主なものは、志那田原橋補修工事、川田原補修工事、陸上競技場の機能高度化に伴う工事請負費及び備品購入費である。	原案可決 (全会一致)
金武町財政調整基金の処分について 橋梁維持費、陸上競技場整備費へ1億614万4,000円以内を充当するため、財政調整基金を取り崩すものである。	原案可決 (全会一致)
米軍北部訓練場ヘリパッド建設に抗議する市民への県外機動隊員による差別的発言に対する意見書 ※詳細は、下記のとおり	可 決 (賛成多数)

米軍北部訓練場ヘリパッド建設に抗議する市民への県外機動隊員による差別的発言に対する意見書

去る10月18日午前9時45分頃、東村高江の北部訓練場N1地区ゲート横の丘に設置された仮設フェンス沿いで、警備活動中の機動隊員が抗議する市民に対し、「土人」、「シナ人」との差別発言があった。このような発言は極めて差別的で、沖縄県民を植民地的に見下すもので、悪質発言と言わざるを得ないものであり、断じて許されるものではない。

侮辱的発言が出る背景には、差別意識から発せられたとの問題意識を指摘せざるを得ない。

よって、本町議会は、県民の尊厳を守る立場から、機動隊員による差別発言に対し、厳重に抗議し、県民への謝罪を強く求め、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年10月31日
 沖縄県金武町議会

宛 先

警察庁長官、国家公安委員長、沖縄県警察本部長、沖縄県公安委員長



平成28年12月10日で任期満了を迎える第18期金武町議会議員と執行部